報告書第8号　みんなでお味噌汁を！！　3月

≪活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者とのかかわり≫

1 学期に栽培した枝豆を大豆になるまで見守り、３学期には大豆をみんなで粉状につぶし、大豆からきな粉ができることを知りました。

そして今回は**「大豆からきな粉ができるように、他にも色々なものができるみたいだね？」**

という保育者の問い掛けに、**「納豆」「醤油」「味噌」**と答える子が思いの外多くびっくりした。しかし、「他にもっとないかな～」と聞くと、絵本や資料をじっくり見て**「あっ、お豆腐も！」「豆乳もだね。飲んだことあるよ。」**と調べる楽しさもこの１年間の活動で感じ始めたようである。また、図鑑を広げて**「先生！大豆でもやし、できるの？」**と新たな問い掛けをしてくる子もいた。現在、大根やカブの栽培と並行して「もやし」も栽培し始めています。

味噌や豆腐が大豆からできることを知った子どもたちと相談し、「ぜひ昼食時にみんなでお味噌汁をいただきたいね！」と言うことになった。「お味噌汁に入れる中身はなににしようか？」と言うと・・やはり野菜嫌いな子もいるため今回は、豆腐と現在栽培中の大根を入れることにした。しかし、今年は３月に雪が降るなど、思いの外気温が上がらず、栽培中の大根はお味噌汁の具材としてはまだ小さいため、今回は購入した大根を使うことになった。

そして、いよいよお味噌汁をいただく日となりました！！

みんなでいただく前に、小さいカップにお味噌を入れてお味噌の香りを楽しみました。

「なんだか醤油のにおいがする！」「こんな色（濃い色・茶色）してるの？」「お腹すいちゃった」「お家で嗅いだことあるよ！」「きゅうりにつけて食べたことある！」「家のお味噌と色が違う」など色々な声が聞かれました。

待ちに待ったお弁当の時間！！

この日を迎えるまで子どもたちは、毎日今か今かとカウントダウンをしていました😊

お鍋いっぱいのお味噌汁を小さな紙コップに注いで、みんなで元気に

「いただきまーす！！」

お味噌汁のいい香りが部屋中に広がり・・・

一気にお味噌汁を飲み干す子や時間をかけて味わう子、中には普段あまりお味噌汁を飲む経験がないのか、恐る恐る飲む子など本当に様々でした。つぶやきを書かなくても子どもたちの表情をご覧ください！

大根はちょっと

かわいらしく

🌸型に！！

※一人に2枚の桜の形の大根が！！

そして、ある一人の子の**「先生！おかわりある？」の一言で流れが変わり･･･続々と空になった紙コップを持ち、そしておかわりの列が絶え間なく続きました！！**保育者としては、嬉しい限りです。

そしてついに･･･

「えっ、もうないの？？」

何度もふたを開け、確認をしているのでした😢

しかし、おかわりができなかったわけではありません。

ほとんどの子が、2杯目3杯目とおかわりをしていました！

見事に完食！！👏👏👏

豆腐も大根もスープも１滴も残さず、見事に完食した子どもたち！！大根やお豆腐とにらめっこをしている子もいましたが、みんなと食べることで、配膳されたものは頑張って食べきっていました。すごいことですね！！

≪振り返り≫

この１年を通して、自分たちで野菜を育てたり、食べたりすることで色々な野菜に興味や関心がわいたように思われる。そして、みんなで楽しかったことや苦戦したこと、美味しかったことなど多くのことを共感し合うことができた。また、これらの活動を通して、探究心だけではなく食育にも繋げることができた。実際に食する際きっと苦手な野菜もあったと思うが、美味しそうに食べている友達の姿を見て、「一口食べてみようかな？」という思いが自然と生まれたことだけでも素晴らしい成長だと思った。更には自分たちが育てた野菜に対する愛着もわき、美味しくいただくことができたようにも思われる。今回の様々な活動の中で、子どもたちが調べたいときに調べられるよう、野菜についての絵本や図鑑、資料をすぐ手に取れるよう環境も作ることができた。これにより、意欲的に調べる楽しさや学んだことへの喜びも感じられるようになったと思う。保護者の皆様にも多くのご理解を頂けたことにも感謝している。ぜひここでこの活動を終わりにするのではなく、幼稚園やお家でも色々なことに挑戦してみて欲しいと願う。子どもたちの探究心、わくわくの気持ちをこれからも見守っていきたい。